

浮気桜(うわきばな)

松下幹生

桜が舞い散る 風の中  
コート裾をひるがえし  
脇目もふらず颯爽と  
私と別れその後は  
どこの女と逢うのやら  
新しい女(ひと) 色は匂えど  
サクラはいずれ ちりぬるを

花びら舞い上げ つむじ風  
私の心 乱れ飛ぶ  
土手の下には 花筏  
あなたの心 埋め尽くす  
新しの彼女 突き止めた  
その娘の名前 和香代…誰ぞえ？  
(わかよたれそ)  
あなたの浮気 つねならむ

いつもの手口で 手を出した  
あなたの好きな 悪い癖  
下心出し 懲りもせず  
片っ端から 声掛ける  
桜の如く 見事散る  
逢瀬の時間 あさきゆめみし  
生き甲斐求め えひもせず